

病棟業務支援システム

Pharma Road II

ファーマロード2

NEW!!

病棟日誌
作成機能

薬剤管理機能の充実と
病棟薬剤管理業務のサポート機能追加で
ファーマシューティカルフィールド拡大に対応。

病棟別業務日誌実績

業務内容コード	業務内容	時期	業務内容コード	業務内容	実施薬剤師名
1	08:00 - 12:30	3:30	17-4		薬剤師太郎
2	12:30 - 16:15	3:45	17-5		薬剤師太郎
3	16:15 - 20:15	4:00	17-6		薬剤師太郎
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

※実施した業務の内容を次の業務の番号から選択して「業務内容」欄へ記入
業務に要した時間を「業務時間」欄へ、実施した薬剤師の氏名を「実施
薬剤師」欄へ、その内容を具体的に記入する。業務内容
1 医薬品の投薬・注射状況の把握
2 医薬品の医薬品安全性情報等の把握及び周知並びに医療従事者からの
入院時の特命業務の確認及び処方計画の提案
3 処方における投与前の相互作用の確認
4 2種以上の薬剤を同時に投与する場合に投与前の相互作用の確認
5 患者等に対するバイリスク薬剤に係る投与前の相互作用の説明
6 その他（業務内容を具体的に記入すること）
※当該病棟以外の場所でも実施した病棟業務についても、実施場所とも記載すること。

病棟薬剤業務日誌

チーム医療をサポート
— Medical Team Support —



従来の薬剤管理機能に加え、病棟薬剤業務支援機能の追加・充実でリニューアル。

NEW
1

持参薬鑑別業務を大幅に軽減。

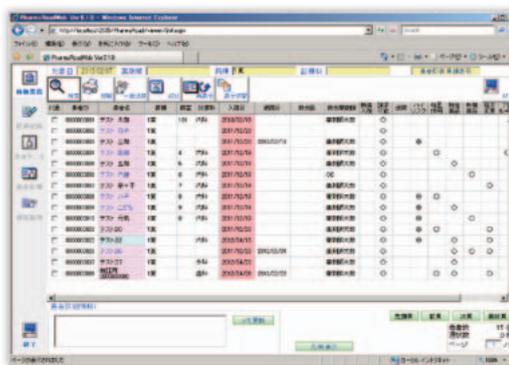


薬品画像を見ながら鑑別可能。代替薬表示、後発品への切替サポートのほか、チェック機能で同効・同成分薬チェック、相互作用チェックが簡単に。

後発品割合、ハイリスク割合、1件あたり平均単価、持参薬持込あり割合・件数など、統計機能をさらに強化し、年次、日報形式での帳票出力やCSVデータ出力が行えます。

NEW
2

モニタリング優先患者抽出機能。



算定請求可能、退院、ハイリスク処方、相互作用などの特定の条件に該当する患者のみを抽出し、病棟薬剤業務を優先的に行う患者をリストアップして、より効率的な業務の実践をサポートする機能が追加されました。

●抽出可能条件

新規入院、請求可能、退院、ハイリスク、相互作用、特定薬品、新規薬品、処方変更、アレルギー歴、副作用歴、持参薬

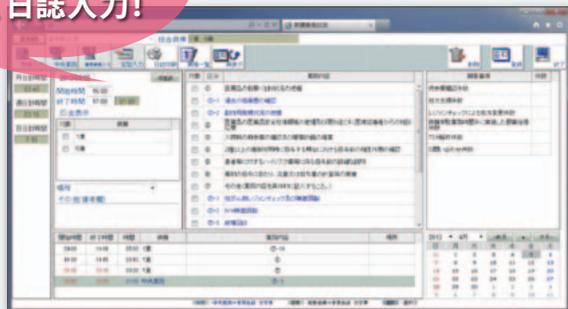
NEW
3

病棟現場ですぐさま日誌入力、リアルタイムで作業実績を把握。

病棟日誌
作成機能

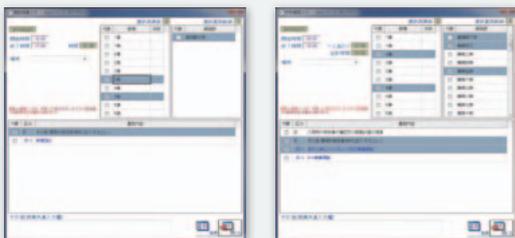
2012年の診療報酬改定で新設の「病棟薬剤業務実施加算」。ご存知のとおり、1病棟あたり週20時間以上の薬剤関連業務実施がその算定要件の1つとなっています。その算定に必要な病棟での業務記録の簡単作成・簡単管理で、事務負担の軽減と薬剤師本来作業の効率化を。WEBシステムのため、病棟やサテライト薬局などの業務現場のあらゆる端末からすぐに日誌入力が行えます。かつ入力された業務内容はリアルタイムで反映され、常に最新の実績状況をひと目で確認・管理することができます。もちろん、5年間の保存義務がある【様式30】病棟業務日誌などの帳票出力も可能です。

病棟現場で
即、日誌入力!



開始/終了時間と業務内容を選択するだけ。時間が重複入力された場合は赤色で警告表示。業務内容は任意で追加可能です。

リアルタイムで
実績把握!



1薬剤師の複数病棟業務入力、複数薬剤師による共通業務入力も、実施した内容に合わせて簡単に登録できます。



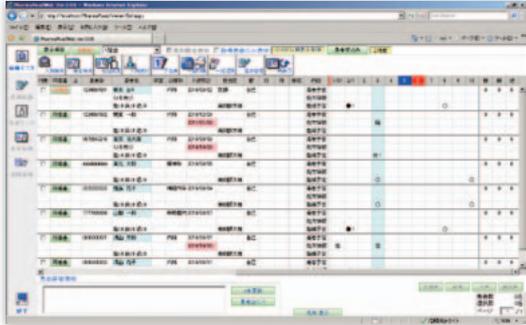
登録した情報はリアルタイムで反映され、病棟別や薬剤師別で実績を一覧表示・帳票出力可能です。



薬剤管理業務の道筋(流れ)に沿った画面が使い勝手を高めます。

病棟モニタ

指導患者、入院患者の一覧・検索が容易。特定条件に該当する患者を抽出して優先的に病棟薬剤業務を行うこともできます。

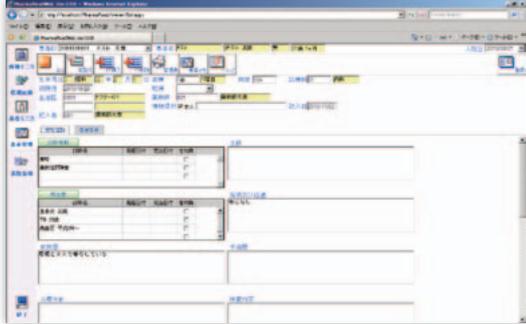


出力帳票

- 服薬指導依頼書
- 指導記録
- 服薬指導予定表
- 条件該当患者一覧
- 患者管理表
- 退院指導書
- 薬歴管理表
- 算定統計資料

患者管理画面

電子カルテ連携により、各項目の自動取り込みも可能です。再入院時は前回内容の引継ぎも簡単に行えます。

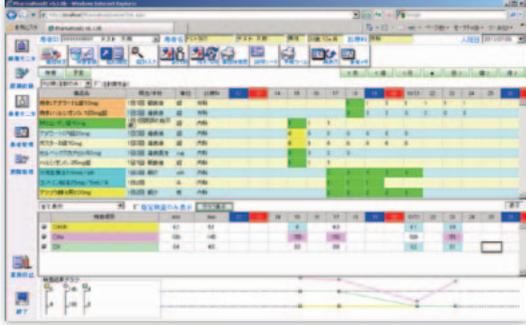


出力帳票

- 患者管理表

患者モニタ

月・週・日単位で薬歴および同時系列で検査歴も表示し、院内各所から確認が行えます。薬品を選択してお薬説明シートも容易に出力することが可能です。

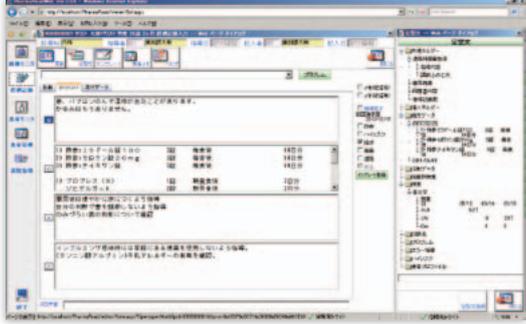


出力帳票

- 薬歴管理表
- 検査歴管理表
- 処方歴管理表
- お薬説明シート

経過記録画面

サブウィンドウの定型文・テンプレート選択で簡単入力。また、種別ごとの算定データを、カルテ経由で会計へ送信できます。

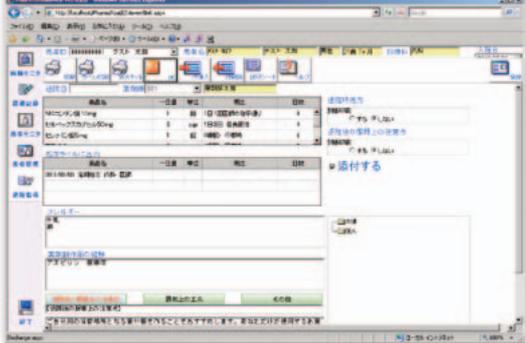


出力帳票

- 服薬指導記録
- 退院指導記録

退院指導画面

指導記録にお薬説明シートや鑑別報告書を電子ファイル添付・保存でき、退院時に必要な帳票・ラベル類が一画面ですべて作成できます。



出力帳票

- 退院指導書
- お薬説明シート
- 手帳ラベル
- 処方ラベル



Nurse



Pharmacist



Doctor

薬剤師さん・患者さんともに理解しやすい帳票類をご提供します。

患者管理表

服薬指導を実施している患者一人ずつの薬物医療に必要な情報をまとめています。

服薬指導記録

実施された服薬指導内容を、日付順にSOAP形式で正確に表現します。

鑑別報告書

運用に合わせた鑑別報告書を出力できます。出力と同時に薬歴への登録も可能です。

お薬説明シート

他に例を見ない美しい画像と、服用時点毎の服用数表示で親切なお仕上がります。

退院時服薬指導書

退院時の最終処方内容とともに、指導内容がチェックBOXとフリー表記で明示されます。

薬品名	用量	単位
持参：セロケン錠 20mg	14	回
持参：アイケル錠	2	錠
持参：ミッドール錠 100	3	錠
持参：ミッドール錠 100	3	錠
持参：ミッドール錠 100	3	錠

<p>【退院後の服薬等に関する留意事項】</p> <p>【アレルギーの有無】</p> <p>【本人服薬時の副作用】</p> <p>【入院中に使用した主な薬剤】</p>	<p>【薬剤上の工夫】</p> <p>【退院後の服用上の留意点】</p> <p>【備考・その他の留意事項】</p>
---	---

手帳ラベル

退院時の最終処方内容とともに、指導内容がチェックBOXとフリー表記で明示されます。

服薬指導統計表

病棟別、科目別、薬剤師別など、月単位で集計した服薬指導数を、さらに算定区分(救命救急・ハイリスク薬・その他や麻薬加算、安全管理体制加算など)に分類し、見やすく一覧表にまとめて出力できます。

病棟薬剤業務日誌【様式30】

様式30に即した業務日誌を出力できます。

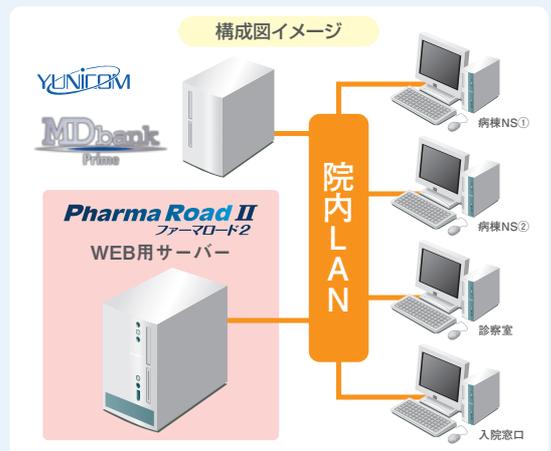
病棟業務実績一覧

病棟薬剤業務の実績を病棟別、薬剤師別で出力できます。

院内各所からのアクセス可能。 院内すべてをファーマシューティカルフィールドに。

1988年の「入院調剤技術基本料」を皮切りに、1994年に「薬剤管理指導料」として薬剤師の病棟業務に診療報酬が付されて約20年が経過。そして2012年には「病棟薬剤業務実施加算」も新設され、まだまだ様々な障壁もあるとはいえ、薬剤師の病棟フィールドでの活躍をバックアップする施策は今後も増加の一途を辿ると予想されます。

この時代の趨勢への対応と、数多くのユーザー様のニーズを元にバージョンアップした病棟業務支援システム「PharmaRoad2」。WEBシステムのため、既設の端末をそのまま利用することでハード面でのインシヤルコストを極力抑えることができるだけでなく、院内LANを介した各部署端末からブラウザでのアクセスが可能ですので、現場ですぐさま病棟業務日誌の作成・管理を行ったり、最新の薬歴参照・出力・記録入力のほか、持参薬管理や服薬情報の共有化により、チーム医療における薬物療法のエキスパートとしての薬剤師を、「PharmaRoad2」が陰から確かに支えます。



患者様の入院から退院まで、 薬剤管理指導の業務の流れに沿って運用いただけます。

PharmaRoad2の支援フロー

★印は当システムを用いずに、薬剤師が実施する業務



院内全体で一元管理が可能な医薬品データベースMDbank。 そして、電子カルテとの各種情報相互連携もスムーズに行えます。

医薬品DBの 一元管理化

ファーマロード、調剤支援システム、電子カルテでのMDbankによる医薬品DBの一元化により、これまで各システムで要していたマスタ更新にかかるコストとメンテナンスの手間を効率化できます。

電子カルテとの 相互情報連携

各ホストメーカー電子カルテとの様々な情報相互連携も行うことができます。受信項目や内容はホストによって異なり、連携に際してホストメーカー様での費用が必要な場合がございますので、詳細は弊社営業担当者までご確認ください。

新世代医薬品総合データベース

搭載データベース種類

- 薬品基本DB
- 薬品成分DB
- GS1データベースDB
- 注射成分DB
- 添付文書DB
- 要約版添付文書DB
- 指導文DB
- 相互作用DB
- OTC薬相互作用DB
- 投与量DB
- 投与制限DB
- 医薬品画像DB
- 錠剤刻印DB
- 注射薬配合変化DB
- 病名禁忌DB
- アレルギー分類DB
- 定期的検査DB
- 妊婦・授乳婦DB

1400万件超を誇る最高水準の医薬品データベースで、注射薬の配合変化も4剤間で行え、医薬品のみならず12,000成分あまりのOTC薬との相互作用チェックも実現します。

(注射薬の配合変化は4剤間でチェック)

check!

(医薬品×OTC薬の相互作用)

check!

ホスト

- 移動情報
- 検査情報
- 患者プロフィール情報
- 指導依頼情報
- 処置オーダー情報情報

相互情報連携

ユヤマ

- 経過記録・鑑別結果
- 電子カルテ画面から閲覧でき、指導記録にはお薬説明シートや退院時指導書などのファイル添付も可能です。
- 算定情報
- 薬剤管理指導料、退院時指導算定、麻薬加算などの算定情報を電子カルテ経由で医事会計へデータ送信します。



YUYAMAのSDGsへの取り組み
これまでも、これからも。

私たちYUYAMAは、SDGs達成に向け、
持続可能な社会実現を目指し、これからも
活動を続けていきます。

SDGs…持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)。2015年9月の国連サミットにおいて採択された、2030年までに地球規模で解決すべき国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成されています。

《ご導入に際してのご注意》

本システムはWEB上で動作しますが、ご使用になるクライアント端末へのプログラムのインストール及び動作には、一部制約があります。「導入条件・動作条件確認書」をご覧くださいの上で、ご導入ください。「導入条件・動作条件確認書」やその他の詳細については、弊社営業担当者までお問い合わせください。



製造元
株式会社

湯山製薬所

発売元
株式会社

ユヤマ

大阪本社 | 〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目4番30号
TEL.(06)6868-5155(代) FAX.(06)6868-5154(代)
東京本社 | 〒130-0012 東京都墨田区太平2丁目10番10号
TEL.(03)3829-9511(代) FAX.(03)5611-2011(代)

カタログの掲載内容は2020年8月現在のものです。
製品の改良のため仕様・デザインを予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

ご購入に関するお問い合わせ・ご相談・お申し込みは下記へご一報ください。

ユヤマのホームページはこちら
<http://www.yuyama.co.jp/>



(株)ユヤマ



(株)湯山製薬所

無償プレゼント実施中!
「開局でお手伝いできること」
「無菌製剤室を作ろう!」

